

第90春季年会「優秀講演賞(産業)」表彰

産学交流委員会

日本化学会産学交流委員会では、第72春季年会(平成8年度開催)より若い世代の講演発表者の研究活動の奨励を目的に、春季年会会場でなされる一般研究発表へ「優秀講演賞(産業)」を贈り表彰しております。本年については Academic Program のうち、高分子、材料化学、材料の機能、材料の応用、資源利用化学の5部門の一般講演に限定し表彰することといたしました。

この「優秀講演賞(産業)」は、「①産業に対して、現在、または将来に亘り大いに寄与すると期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などについて優れた講演でかつ講演者の今後の一層の研究活動発展の可能性を有すると期待されるもの、②探索研究から製品開発の過程で、化学に基づく技術がかかわり、それがブレークスルーや特徴ある製品性能を生み出すなど、製品開発に大いなる寄与をもたらした、優れた技術内容を含むもの」に対して社団法人日本化学会会長名で表彰するものです。

平成22年度の第90春季年会は平成22年3月26日(金)～29日(月)までの4日間、近畿大学本部キャンパスで開催され、審査希望のあった若手研究者(40歳以下の会員)の講演を対象に、産業界の審査員が審査いたしました。産学交流委員会による選考委員会で慎重に選考を行った結果、今年度の受賞者として、申請のあった191件の中から下記の11名が選出されました。選考委員会で高い評価を得て表彰に値すると認定されたこれらの受賞者には、その栄誉をたたえ、さら

に一層の研鑽を積まれることを期待し、受賞者の所属機関長を通じて表彰状をお届けいたしました。

優秀講演賞(産業)受賞者

[高分子]

○黒田浩介氏(東農工大)

3G4-50「イオン液体を移動相とする HPLC の開発: イオン液体の選択とセルロース類への適用」

○吉井良介氏(京大院工)

2G8-26「芳香族縮環型ジピロメテンホウ素錯体(BODIPY)を主鎖に有する新規近赤外発光性共役系高分子の合成」

○西山寛樹氏(東工大総理工)

1G4-35「主鎖にチタナシクロペンタジエン骨格を有する有機金属ポリマーの高分子反応による1,4-ビスメルカプト1,3-ブタジエン骨格を有する π 共役ポリマーの設計と合成」

○本多 智氏(東工大院理工)

2G4-40「両親媒性環状ブロック共重合体による熱安定性に優れた新規高分子ミセルの創製」

[材料化学]

○金井俊光氏(横国大)

3G5-11「長期安定なゲル固定化コロイドフォトリック結晶の作製」

○江端洋樹氏(三井化学)

4G5-06「メタロセン触媒による分岐型オレフィンエラストマー(EPDM)の合成と物性」

[材料の機能]

○平田修造氏(九大未来化学創造センター)

4G6-29「非コヒーレント光に応答する有機逆過飽和吸収体の材料設計」

○BISWAS, Shuvendu 氏(東大院工)

4G7-04「分子シャペロンナノチューブ(2): DDS への応用に向けた刺激応答性のデザイン」

[材料の応用]

○大村沙織氏(東工大・ICU)

1G7-13「デンドリマーを鋳型として合成された白金ナノクラスターの特異的酸素還元触媒活性」

○KIM, Byung-Soon 氏(横国大)

3G7-39「新規なビスアゾメチン色素の光学特性」

[資源利用化学]

○福岡徳馬氏(産総研)

3H3-10「副生グリセリン由来の機能性バイオ素材・グリセリン酸を用いる分岐型バイオベースポリマーの開発」

第90春季年会(2010) 「学生講演賞」及び「優秀講演賞(学術)」の表彰

第90春季年会実行委員会委員長 柳 日馨
学術研究活性化委員会委員長 上村 大輔

本会では若手研究者が各自の研究をまとまった形で発表することによって、その研究のより一層の進展と活性化をはかることを目的として、第83春季年会(2003)から、従来の講演「A講演」(講演7分、討論3分)に加え、「B講演」(講演15分、討論5分)を設けております。B講演の発表資格は「正会員または大学院博士(後期)課程に在籍する学生会員」で、このうち優れた研究発表には「学生講演賞」を贈呈していますが、さらに第86春季年会(2006)から新たに受賞